

関係各位

NR200801
2008年1月7日

社長年頭挨拶
(2008年1月7日)
取締役社長 内池 正名

新年明けましておめでとうございます。2008年の新春にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年10月、JBISホールディングスは一年を経過し、設立時からの戦略である証券総合システムの統合と株券電子化対応の実現が順調に推進できました。これらの対応のスピードは計画に比較して数年の前倒しで、達成できたと考えます。そして、統合されたソリューションであるSIGMA21をご利用いただいている証券会社様は61社となりました。加えて、日本電子計算と日本証券代行が保有するファシリティの統合・共同化を進め、支店の相互活用、機器の利活用の推進と、共同提案活動で実績を積むことができました。

また、資産の積極活用の施策として日本電子計算の本社売却を実施して、財務基盤の強化を行うとともに、資産の健全化、スキル向上、システム開発ツールの導入といった競争力の強化と企業価値の向上のための投資を実施いたしました。

本年は、社会の大きな潮流の変化や商品・サービス供給の担い手が多様化する中でJBISグループが「統合による効率化」の追求にとどまらず、「統合による拡大」への道筋を確かなものにす一年と考えています。

そのため、日本電子計算と日本証券代行という二社によるシナジー効果に加えて、(株)JBISコンサルティングを設立し、お客様の経営課題に対する解決策提示とその実現をより広く、より深く、実行していきます。

また、日本電子計算と日本証券代行が持っている顧客基盤を確実に深耕していくために営業戦略の統合と営業プロセスの統合、共通化を推進いたします。これにより、お客様に対するカバレッジの品質向上を達成し、ご要求やご期待に適った提案を実現してまいります。この施策は、私たちの持つ価値を確実にお客様へ伝達していくプロセスの改善と考えます。

そして、JBISグループの基本戦略であるITサービスと事務サービスを最適に組み合わせることに加えて、証券新世代ビジネスイノベーションサービスに代表される、新たなソリューションやサービスを検討・実現させていくことが重要と考えます。市場の流れやお客様の事業戦略の変化にしたがって、タイムリーにお客様にとって価値のある、そして競争力のあるソリューション提供を実現いたします。こうした新たなソリューションによる価値創造は対象業種を限ることなく推進していきます。

「統合による拡大」の実現に向けたこうした活動基盤は、私たちがお客様にご提供するサービスの品質とプロセスの品質向上、お客様満足度の向上、社員の成長に他なりません。こうした基盤の整備・強化のためのひとつとして、「新ワークスタイル(New Work Style)」という「仕事の仕方の変革」を目指します。社会環境の変化、価値観の多様化、技術の進歩などを見定めた上で、その実現に向けて本年から構築を開始します。

2008年における私たちの進化の段階は、「戦略統合」から「アセット統合」、「プロセス統合」を目標として、「統合による拡大」を実現させる時期となります。多くの施策を力強く実現していくことで、2008年がJBISとグループ各社の発展と成長の年になることを期待しております。

以上